共2！

校訓：自立・親和・協力
合言葉：「愛・SUN・三
～共育spirit～」

長崎市立三和中学校
令和６年度学校だより　Ｎｏ１７
令和７年３月２４日（月）
文責　校長　赤塚竜造

三中のＨＰもぜひ見てください。学校の様子などをアップしています。訪問者数目標３００００人！

令和6年度 修了式

桜の開花が始まりました。桜のごとく春爛漫の人生を共々に…！

３月１４日に卒業証書授与式を行い、５６名の子どもたちが巣立ちました。各進路先でそれぞれの力を十分に発揮してくれることを期待しています。

学校行事への取組をはじめ、部活動や学習に対し、１８９名の子どもたちは、のびのびと力を発揮しました。１・２年生は、生徒会を中心に送別行事を企画・実行したことで一歩成長し、頼もしさを感じます。

４月からは新入生６６名を迎え、全校生徒１９９名でスタートします。次は、どのような学校になるのかとても楽しみです。２年生は最高学年となり、“新リーダー・三和の顔”として“新生三和中”を創ってくれると期待しています。１年生は、中堅学年として“縁の下の力持ち”的な存在となり先輩を支え、後輩たちを育ててくれると期待しています。

修了式では、「夢や願いに向かう途中には、失敗や挫折をたくさん味わいます。しかし、負けないでください。みなさんは決して独りぼっちではありません。仲間や先生たちがついています。苦しい時は苦しいと声を発してください。周囲の仲間や先生たちが、必ず支えたりや励ましてくれますから。いよいよ春休みですが、この期間に『これからのことをしっかり考える時間をつくること』と『これからのために準備をしていくこと』を頭においてを生活してみてください。」という内容の話をしました。

日々の学習、様々な行事を積み重ねる中で、子どもたちは心も頭も豊かになり、身体もたくましくなっています。保護者や地域の皆様に支えられた、三中の子どもたち。三中を愛し、一段と輝きが増す次年度にと期待しています。

慌ただしい１年でしたが、子どもたちにとって、とても有意義な活動ができたと感謝の気持ちでいっぱいです。１年間本当にありがとうございました。

今後もさまざまな場面で、ご支援していただくことになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

退職・転出の先生方です。大変お世話になりました。

教諭　河原 貴子（国語　６年間の勤務）ご退職
教諭　小川 雅司（理科　５年間の勤務）ご退職
講師　石橋 雅浩（数学　１年間の勤務）ご退職
教諭　佐野 陽汰（英語　１年間の勤務）⇒上海日本人学校浦東（プードン）校へ
図書館司書　山口 紗恵（４年間の勤務）⇒晴海台小・蚊焼小へ
校長　赤塚 竜造（社会　２年間の勤務）⇒長崎市立三重中学校へ（教諭として）

保護者の皆さまへ　２年間大変お世話になりました。

〝Ｔｅａｍ　三和中〟

『青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方を云う。薔薇(ばら)の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意志、ゆたかな想像力、燃える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。青春とは臆病さを退ける勇気、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。ときには20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。歳月は皮膚にしわを増すが、熱情は失えば心はしぼむ。苦悩・恐怖・失望により気力は地に這(は)い精神は芥(あくた)にある。60歳であろうと16歳であろうと人の胸には、驚異に惹(ひ)かれる心、幼児(おさなご)のような未知への探求心、人生への興味の歓喜がある。君にも吾にも見えざる駅逓(えきてい)が心にある。人から神から美・希望・喜び・勇気・力の霊感をうける限り君は若い。霊感が絶え、精神が皮肉の雪に覆われ悲嘆の氷に閉ざされるとき、20歳であろうと人は老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして已(や)む。』

～「青春」（詩人：サムエル・ウルマン　訳：作山宗久）より～

新しい年を迎えると、この１年をどのように過ごしていきたいかを考えるようにしています。その中でこの詩に出会い、紹介させていただきました。

年度初めの始業式で、「愛・ＳＵＮ・三～共育SPIRIT～」という合言葉を紹介し、「愛情たっぷりで、太陽のような情熱を燃やしながら前進する三中を生徒・職員でつくっていこう」と呼びかけました。入学式では、「自立する力」を身に付け、「友情の輪」を広げ、自分のよさを伸ばせる中学校３年間であってほしいと話しました。

生徒たちは各行事に対してまっしぐらによく頑張りました。朝のあいさつ運動、体育大会、中総体、合唱コンクール、駅伝等々。当然、生徒の本分である学習にも日々挑戦しました。192名（現在189名）それぞれが役割を果たしました。山あり谷ありの１年間でしたが、さすが学校の顔である３年生。学校のリーダーとして、皆をよくまとめました。２年生は先輩を支え後輩の面倒を見ました。次は自分たちの番だと意識も高まっています。１年生は、３・２年生の背中を見ながら必死の姿が印象的です。人それぞれに使命があり個性があり生き方があります。「自分なんかもう駄目だ」と思わず、困難に直面した時は自分の新しい可能性を開くチャンスと捉えて、これからも前進してほしいです。

保護者の皆様、ＰＴＡ活動をはじめ学校の教育活動を温かく見守り、多くの場面で支えていただいたことに深く感謝申し上げます。これからもさまざまな活動にぜひご参加いただき、よりよい学校づくりにお力をお貸しください。私たち教職員も生徒とともに「共育＝共に育つ」を合言葉に成長できたらと思います。今後ともご理解とご支援をよろしくお願いします。２年間、本当にありがとうございました。